日本航空 OB 乗員
有志の会ニュース

2015.11.02
No.15-027

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob@gmail.com

安全で明るい JAL

乗員流失が止まらない

2015 年 8 月末の時点で今年度も 機長 10 名、副操縦士 4 名が JAL を去っている その後、特別運航乗務員も JAL から転出？

JAL 経営の責任は明白

根本的解決策は 早急に職場要求に応える事が必要

乗員組合及び機長組合は、組合大会後の労使交渉を開始しました。

組合ニュースによれば、2015 年下期の乗員計画でも、会社説明によると 2015 年 8 月の時点で今年度も機長 10 名、副操縦士 4 名が JAL から流失しているそうです。JAL は乗員不足が解決できず、勤務・安全にさえ支障が出る状況が続いている事も指摘されています。乗員流失は事業計画に影響を与えるほど深刻な問題を抱え、解決策さえ見出せませんが、経営責任はどうなっているのでしょうか？

地上業務(GJ)や教育の削減、特別運航乗務員の採用など、どれを見ても乗員不足の証拠を会社自らが立証していると言えるでしょう。(最近、採用した特別運航乗務員も転出したとの話も出ています)

この様な経営のやり方は、一時しのぎであり、根本的な解決策でない事は明白です。それどころか、勤務協定違反の乗務の押し付け問題やインシデントの責任を現場に押し付けるやり方は、自由に物の言えない暗い職場の再来であり、過去の連続事故そして御巣鷹山事故にまで繋がった経営の反省が全く見られません。

二度と事故を起こさない「絶対安全の JAL」を期待している利用者国民の立場から見ても異常な事態です。

根本的な解決策は、整理解雇を撤回し「安全で明るい職場」を目指す職場要求に早急に応える事ではないでしょうか。

関連リンク：詳細は、枠内をクリックして御覧下さい。

乗員速報：62-023(乗員計画)

62－024(乗員計画)

62-025(勤務)

62-026(安全)

原告団：10 月 29 日　一斉行動 配布ビラ

2015 年度
冬季カンパ支援
取り組み参加
宜しくお願い致します

今後の日程

宣伝行動・各地集会：私たちはあきらめない!!!
座り込み、デモ＆本社前抗議

原告団 HP 日程参照